

令和9年度
(2027年度)

入学者選抜要項

※ やむを得ない事情等により、この要項に記載されている内容が変更になる場合があります。最終的な情報は、8月以降に発行予定の学生募集要項並びに本学ウェブサイト等で必ず確認してください。



新潟県立大学

University of NIIGATA PREFECTURE

目 次

令和9年度入学者選抜要項

I	新潟県立大学の概要	1
1	新潟県立大学の基本理念	1
2	新潟県立大学が目指すもの	1
3	教育課程	1
II	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	2
1	国際地域学部	2
2	国際経済学部	3
3	人間生活学部	4
III	入学者選抜の概要	6
1	入学定員・募集人員	6
2	入学者選抜日程	6
3	障がい等のある入学志願者の事前相談	7
IV	一般選抜（A日程、B日程、C日程）	8
1	出願資格	8
2	選抜方法	8
3	実施教科・科目等	8
4	大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト、小論文、面接の配点	12
5	教科・科目に係る個別テスト、小論文、面接の日時及び試験場	13
V	総合型選抜	15
VI	学校推薦型選抜	16
VII	特別選抜（海外帰国生特別選抜）	18
VIII	特別選抜（外国人留学生特別選抜）	19
IX	各種資料の請求方法	21
1	出願資料の種類・発送予定	21
2	各種資料の請求方法	21

I 新潟県立大学の概要

1 新潟県立大学の基本理念

新潟県立大学は、国際性の涵養、地域性の重視、人間性の涵養を大学の基本理念とします。

○ 国際性の涵養

東アジアをはじめとする世界の人々との社会的・文化的交流の促進を目指し、グローバルな視点からの教育・研究を進めます。

○ 地域性の重視

地域づくりや地域の共生を担う人材を育成し、地域社会に開かれた大学を目指します。

○ 人間性の涵養

豊かな人間性を培うために、学生一人ひとりに対してきめ細やかな教育を行い、学生同士が切磋琢磨し学び合う環境をつくります。

2 新潟県立大学が目指すもの

新潟県立大学は、国際性の涵養、地域性の重視、人間性の涵養を大学の基本理念とし、グローバルな視点から地域づくりを担う中核的な人材を育成することを目的とします。また、新潟から世界に向けて交流の輪を広げ、情報発信するとともに、教育研究の成果を地域に還元して、持続的な地域の発展と共生社会の実現に貢献する大学を目指します。

○ 国際地域学部

国際地域学部では、「国際」と「地域」の視点から教育・研究を行い、地域のグローバル化に対応し国際的に活躍できる人材を育成します。国際地域学科1学科とし、国際関係・比較文化・露中韓の3つのコースを設け、国際的・学際的な教育・研究を行います。語学活用能力、特に英語で学ぶ能力とコミュニケーション能力を伸張し、新潟から世界へ発信し活躍する人材を育成します。

○ 国際経済学部

国際経済学部では、最新の経済・産業・企業を理解する専門能力、データ・情報を実践的に分析する力、国際的なコミュニケーションを担う確かな語学力を身につけ、国際経済・地域経済の舞台に羽ばたく人材を育成します。

○ 人間生活学部

人間生活学部では、「人間」と「生活」の視点から教育・研究を行い、少子高齢化が進む地域社会に対応し、魅力ある地域社会を実現することのできる人材を育成します。人間生活学部には子ども学科と健康栄養学科の2学科を置き、子ども学科では、質の高い保育者や地域で子どもや子育てを支援する人材を、健康栄養学科では、食生活の改善を通じて地域の健康増進を推進する人材を育成します。

3 教育課程

教育課程については、学部共通で学ぶ基盤科目とそれぞれの専門に応じて学ぶ展開科目を設置します。基盤科目には、外国語科目の他、基本技能科目（情報、体育など）、現代教養科目（新潟学、歴史と文化、人間社会と科学、社会と経済の仕組み）、さらに海外研修科目を置きます。展開科目は、それぞれの学部学科の理念に基づいて配置され、展開科目を学ぶ中で高度な専門的知識・技術を身につけます。

また、教育の根幹はヒューマンリレーションにあると考えられることから、教員と学生の人間的交流を大切にしながら、自己への深い省察力と他者との豊かな対話力を身につけた人材を育成します。

Ⅱ アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

1 国際地域学部

(1) 教育内容・特色

国際地域学部では、外国語の高い運用能力の習得と、国際関係と地域の文化・社会の複合的な学修をととして、「国際と地域」の諸課題に対応できる人材を育成します。

(2) 国際地域学部が求める学生像

英語の高いスキルを習得する意欲と、そのための十分な基礎的能力を持ち、さらに以下のいずれか一つまたは複数を目指する人を求めます。

- ◎現代世界が直面する諸課題について主体的に学ぶこと。
- ◎異なる文化や言語について比較、探求すること。
- ◎ロシア・中国・韓国のいずれかの言語を習得し文化や社会を理解すること。
上記に加えて、以下のことを志向する人も求めています。
- ◎中学校・高等学校教諭一種免許状(英語)の取得をめざすこと。
- ◎海外留学、国際交流、地域のボランティア活動などに積極的に参加すること。

(3) 大学入学までに身につけておくことが望ましい知識・能力・態度

高等学校における学力の三要素、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関して、以下の点を次項に掲げる方法で確認・評価します。

基礎的な知識・技能

英語の4技能「聞く・話す・読む・書く」をバランスよく習得していること。入学時に CEFR(ヨーロッパ共通参照枠)B1レベル(「自立した言語使用者」のレベル、英検2級程度)以上の英語運用能力を有していること。

思考力・判断力・表現力

現代社会の課題や多様な文化に対する関心と洞察力を有し、自分の考えを論理的にまとめて、わかりやすく表現できること。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

国際社会の平和と発展、多文化共生社会の実現、などのために貢献する意欲を有し、それに向かって幅広い知識を身につけたり活動に参加したりするなど、自ら進んで積極的に学んでいること。

(4) 選抜の基本方針

学校推薦型選抜

小論文、面接及び調査書等の内容を総合的に用いて、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。小論文では特に「問題理解力」「文章構成力」「論理的思考力」等々を評価します。

特別選抜（海外帰国生特別選抜）

書類審査、面接及び筆記試験の内容を総合的に用いて、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。試験は日本語と英語で行い、それぞれの言語における「理解力」「論理的思考力」「文章構成力」「表現力」等々を評価します。

特別選抜（外国人留学生特別選抜）

書類審査、面接及び筆記試験の内容を総合的に用いて、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。試験は日本語と英語で行い、それぞれの言語における「理解力」「論理的思考力」「文章構成力」「表現力」等々を評価します。

一般選抜 A 日程

大学入学共通テストにおいては3教科3科目を課し、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を評価します。教科・科目に係る個別テストでは英語により、主に「思考力・判断力・表現力」に関わる「読解力」「表現力」を評価します。また、調査書により主に「主体性・協働性」を評価します。

一般選抜 B 日程

大学入学共通テストにおいては5教科5科目を課し、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を評価します。教科・科目に係る個別テストでは英語により、主に「思考力・判断力・表現力」に関わる「読解力」「表現力」を評価します。また、調査書により主に「主体性・協働性」を評価します。

一般選抜 C 日程

大学入学共通テストにおいては英語(リスニングを含む)および国語を課し、本学部で学ぶための基礎となる「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を評価します。小論文により、主に「思考力・判断力・表現力」に関わる「問題理解力」「文章構成力」「論理的思考力」等々を評価します。また、調査書により主に「主体性・協働性」を評価します。

2 国際経済学部

(1) 教育内容・特色

国際経済学部は、「国際的視野から経済・産業・企業の仕組みを理解する専門知識を有し、情報分析力、確かな語学力・国際コミュニケーション力を有する人材を育成する」ことを目的とし、専門性の高い能力を有する人材の教育を目指しています。また、質の高い教育を支え、地域や社会のニーズを踏まえた研究活動を推進していきます。

(2) 国際経済学部が求める人材像

国際経済学部では、次のような学生を求めています。

入学を期待する人材

- ◎国際経済及び地域経済に関心を有し、専門的能力を高めることに意欲を有する者
- ◎経済を読み解くための情報・データに関心を有し、その分析能力を高めることに意欲を有する者
- ◎国際経済や地域経済に関して学んだ知識や思考力を生かして社会や地域に貢献する意欲を有する者

(3) 大学入学までに身につけておくことが望ましい知識・能力・態度

高等学校における学力の三要素、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関して以下の学力評価を行います。

基礎的な知識・技能

経済学を学ぶために必要な基礎学力として、高等学校等で身に付ける英語、国語、数学の知識。特に英語に関しては、「読む・書く・話す・聞く」の4技能をバランスよく習得し、幅広い基礎学力を身に付けていること。

思考力・判断力・表現力

広く経済社会の様々な動きや変化に対する探究心を有し、自らの考えを論理的に表現し、わかりやすく伝えることができること。

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

国際及び地域の経済問題に常に関心をもち、それらの解決に向けて専門知識・思考方法を自ら活用し、国際社会及び地域社会に積極的に貢献しようという意識を有していること。

(4) 選抜の基本方針

総合型選抜

面接及び出願書類等(調査書、評価書、志望理由書、各種の高度な資格・技能試験の証明書)の内容により、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

学校推薦型選抜

小論文により、主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類等(調査書、推薦書、志望理由書)の内容により、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

特別選抜(海外帰国生特別選抜)

小論文により、主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類等(成績証明書等、志望理由書、英語外部試験成績証明書)の内容により、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」を評価します。

特別選抜(外国人留学生特別選抜)

特別選抜(海外帰国生特別選抜)に準じて総合的に判定します。

一般選抜A日程

大学入学共通テストにおいては5教科5科目を課し、主に「知識・技能」を評価します。教科・科目に係る個別テストでは、英語、数学により、及び小論文により、「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を評価します。また調査書により、主に「主体性・協働性」を評価します。

一般選抜B日程

大学入学共通テストにおいては3教科3科目を課し、主に「知識・技能」を評価します。教科・科目に係る個別テストでは、英語、数学により、「知識・技能」及び「思考力・判断力・表現力」を評価します。また調査書により、主に「主体性・協働性」を評価します。

一般選抜C日程

大学入学共通テストにおいては英語(リスニングを含む)および数学を課し、主に「知識・技能」を評価します。小論文により、主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。また、調査書により、主に「主体性・協働性」を評価します。

3 人間生活学部

人間生活学部は、人間に対する深い理解に基づき、グローバル化の進む地域の中で人々の QOL(Quality of Life)の向上を志向しながら、「育」と「食」を中心に豊かなヒューマンライフを創造し、子どもから高齢者まで生き生きと暮らせる社会の実現に貢献できる人材を育成することを目的としています。人間生活学部は、「育」をキーワードとする子ども学科と、「食」をキーワードとする健康栄養学科からなっており、それぞれの学科の目的を理解し、夢に向かって努力する学生を求めています。

子ども学科

(1)教育内容・特色

人間に対する深い理解に基づき、子どもの発達とそれを支える教育、生活環境及び社会環境に関して科学的に探求し、実践的・専門的力量を持つ中核の人材を育成します。

(2)子ども学科が求める学生像

子ども学科では、次のような学生を求めています。

- ◎乳幼児期の子どもの育ちや子育て支援に関する基礎的な知識・技能をもつ人
- ◎子どもや家庭、地域社会、国際社会の様々な課題に関心を持ち、その解決を求める際に必要となる思考力・判断力・表現力をもつ人
- ◎地域社会並びに国際社会で活躍する教育、保育、社会福祉の専門職者となるため、他者の考え、気持ちを理解し、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をもつ人

(3)大学入学までに身につけておくことが望ましい知識・能力・態度

高等学校における学力の三要素、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関して以下の学力評価を行います。

基礎的な知識・技能

- ◎高等学校までの教育課程を介して培われる各教科の基礎的・基本的な知識及び技能
- ◎教育、保育、社会福祉を学術的に探究するのに必要となる総合的な知識及び技能

思考力・判断力・表現力

- ◎情報を適切に読み解き、問題を深く理解する思考力
- ◎物事を複数の視点から考察し、自ら選択、評価、決定を行う判断力
- ◎自らの考えを他者に対して論理的かつわかりやすく伝える表現力

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

- ◎専門職者を目指して様々な活動に主体的に取り組むとともに、他者に対して共感性や思いやりの心を持って行動する
- ◎様々な立場の人々とコミュニケーションをとりながら協働して活動する
- ◎グローバルな視野と多様な社会や人への関心を持つ

(4)選抜の基本方針

学校推薦型選抜

小論文、面接及び出願書類(調査書・志望理由書等)の内容により、本学科で学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と専門職に求められる適性及び意欲を評価します。

特別選抜(海外帰国生特別選抜)

学校推薦型選抜に準じて総合的に判定します。

特別選抜(外国人留学生特別選抜)

学校推薦型選抜に準じて総合的に判定します。

一般選抜A日程

総合的な学力を活かし、地域社会並びに国際社会で活躍できる力を重視します。大学入学共通テストの国語、英語(リスニングを含む)、数学、理科及び選択科目の5教科により本学科で学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と専門職に求められる適性及び意欲を評価します。

一般選抜B日程

様々な課題を思考、読解、分析し、自らの考えを論理的かつ的確に表現できる力を重視します。大学入学共通テストの国語、英語(リスニングを含む)、選択科目の3教科により「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を問うほか、小論文により主に「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接・調査書等により「主体性・協働性」と専門職に求められる適性及び意欲を評価します。

一般選抜C日程

語学力を活かし、地域社会並びに国際社会で活躍できる力を重視します。大学入学共通テストの国語、英語(リスニングを含む)、選択科目の3教科により本学科で学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により、主に「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と専門職に求められる適性及び意欲を評価します。

健康栄養学科

(1) 教育内容・特色

社会におけるあらゆる人の健康と生活の質の向上に寄与するため、科学的に探求し、実践的・専門的力量を持つリーダーに成長できる管理栄養士を育成します。

(2) 健康栄養学科が求める学生像

健康栄養学科では、次のような学生を求めています。

- ◎栄養学を学び続けるために必要な基礎的な知識・技能をもつ人
- ◎情報の収集・評価・分析・統合と関連付け・発信に必要な、思考力・判断力・表現力をもつ人
- ◎管理栄養士として、地域社会並びに国際社会で食を通して人々の健康や生活の質の向上に貢献したいという意思をもち、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度をもち、課題を発見し、解決できる人

(3) 大学入学までに身につけておくことが望ましい知識・能力・態度

高等学校における学力の三要素、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」に関して以下の学力評価を行います。

基礎的な知識・技能

◎高等学校までの教育課程を介して培われる各教科の基礎的・基本的な知識及び技能

◎栄養学を学術的に探究するのに必要となる知識及び技能

思考力・判断力・表現力

◎課題は何かを考え、解決しようと深く考える思考力

◎情報を収集し複数の視点から評価・分析し、客観的、的確に決定する判断力

◎自らの判断や考えを他者に対して論理的かつ的確に説明する表現力

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

◎管理栄養士として、食を通して社会や人の健康や生活の質の向上に貢献したいという意思

◎様々な立場の人々とコミュニケーションをとりながら協働して活動する

◎グローバルな視野と多様な社会や人への関心を持つ

(4) 選抜の基本方針

学校推薦型選抜

化学の試験により栄養学を学ぶうえで必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類（調査書・志望理由書等）の内容により「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と管理栄養士に求められる適性及び意欲を評価します。

特別選抜（海外帰国生特別選抜）

学校推薦型選抜に準じて総合的に判定します。

特別選抜（外国人留学生特別選抜）

学校推薦型選抜に準じて総合的に判定します。

一般選抜 A 日程

栄養学の知識や情報の取得・発信に意欲がある学生を選抜します。

大学入学共通テストの国語、英語（リスニングを含む）、数学、理科の4教科により栄養学を学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と管理栄養士に求められる適性及び意欲を評価します。

一般選抜 B 日程

人々の健康に貢献したいという意欲を持つ多様な学生を選抜します。大学入学共通テストの国語、英語（リスニングを含む）、数学、理科及び選択科目の5教科により栄養学を学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と管理栄養士に求められる適性及び意欲を評価します。

一般選抜 C 日程

先進的な栄養学の知識や情報の取得・発信に意欲がある学生を選抜します。大学入学共通テストの英語（リスニングを含む）及び理科により栄養学を学ぶために必要な「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」を評価します。面接及び出願書類により「思考力・判断力・表現力」「主体性・協働性」と管理栄養士に求められる適性及び意欲を評価します。

Ⅲ 入学者選抜の概要

本学の一般選抜試験は、他の国公立大学が実施している「分離・分割方式」による入学者選抜ではない独自の日程（A日程、B日程、C日程）で試験を実施しています。従って、本学のA日程試験、B日程試験、C日程試験は他の国公立大学の前期日程、後期日程及び公立大学の中期日程と併願受験が可能となります。ただし、総合型選抜・学校推薦型選抜に関しては、他の大学の総合型選抜・学校推薦型選抜との併願は認めません。

1 入学定員・募集人員

（単位：人）

学 部	学 科	定 員	募 集 人 員						
			一 般 選 抜			総合型 選 抜	学校 推薦型 選 抜	特 別 選 抜	
			A日程	B日程	C日程			海外帰国生 特 別 選 抜	外国人留学生 特 別 選 抜
国際地域学部	国際地域学科	180	80	40	20	-	40	若干名	若干名
国際経済学部	国際経済学科	100	45	25	5	若干名	25	若干名	若干名
人間生活学部	子ども学科	50	20	8	5	-	15	若干名	2
	健康栄養学科	40	15	12	3	-	10	若干名	若干名
合 計		370	160	85	33	若干名	90	若干名	(2)

- ・総合型選抜及び特別選抜における募集人員の若干名は、それぞれの学部学科の一般選抜B日程の募集人員に含まれます。
- ・合格者発表後、入学手続き者が入学定員に満たない場合には、追加合格による欠員補充を行うことがあります。

2 入学者選抜日程

選 抜 区 分		出願期間	試 験 日	合 格 発 表
一 般 選 抜	A日程	令和9年 1月12日(火) ～1月20日(水)17:00	令和9年 2月7日(日)	令和9年 2月17日(水)
	B日程	令和9年 1月18日(月) ～1月27日(水)17:00	令和9年 2月20日(土)	令和9年 3月5日(金)
	C日程	令和9年 2月15日(月) ～2月22日(月)17:00	令和9年 3月15日(月)	令和9年 3月20日(土)
総合型選抜		令和8年 9月28日(月) ～10月2日(金)17:00	1次選考: (書類選考) 2次選考: 令和8年 11月21日(土)	1次選考:令和8年 10月23日(金) 2次選考:令和8年 12月3日(木)
学校推薦型選抜		令和8年 11月2日(月) ～11月6日(金)17:00	令和8年 11月21日(土)	令和8年 12月3日(木)
特 別 選 抜	海外帰国生 特 別 選 抜	令和8年 11月2日(月) ～11月6日(金)17:00	令和8年 11月21日(土)	令和8年 12月3日(木)
	外国人留学生 特 別 選 抜	令和8年 11月2日(月) ～11月6日(金)17:00	令和8年 11月21日(土)	令和8年 12月3日(木)

3 障がい等のある入学志願者の事前相談

障がい等のある者で、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、出願の前（学生募集要項に記載する相談期限まで）にあらかじめ事務局入試課（TEL 025-270-1311）に相談してください。

相談の内容によっては対応に時間を要することもありますので、出願する前のできるだけ早い時期に相談してください。相談することにより受験生に不利益を与えることはありません。

IV 一般選抜（A日程、B日程、C日程）

1 出願資格

本学に入学を志願できる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和9年度大学入学共通テストで本学が指定する教科・科目を受験した者に限ります。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和9年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和9年3月修了見込みの者
- (3) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
- (4) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (5) 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和9年3月31日までに修了見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和9年3月31日までに合格見込みの者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの
- (8) 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、高等学校卒業程度認定審査規則による高等学校卒業程度認定審査に合格した者及び令和9年3月31日までに合格見込みの者
- (9) 本学において、個別の入学審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和9年3月31日までに18歳に達するもの

注) 出願資格(9)により出願を希望する者は、事前に入学資格審査を行います。申請方法等の詳細は、事務局入試課にお問い合わせください。

2 選抜方法

入学者の選抜は、大学入学共通テスト及び各学部学科で実施する教科・科目に係る個別テスト、小論文、面接の成績並びに調査書等の提出書類の内容を総合的に判定して行います。

3 実施教科・科目等

(1) 国際地域学部 国際地域学科

日程	大学入学共通テスト利用教科・科目名		本学で実施する試験
	教科	科目名等	
A日程	国語	『国語』	3教科 3科目 ・英語 (「英語コミュニケーションⅠ」, 「英語コミュニケーションⅡ」, 「英語コミュニケーションⅢ」, 「論理・表現Ⅰ」, 「論理・表現Ⅱ」, 「論理・表現Ⅲ」) ・調査書等
	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』 から1	
	数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 から1	
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』 から1	
	情報	『情報Ⅰ』	
	外国語	『英語(リスニングを含む)』	
B日程	国語	『国語』	5教科 5科目 ・英語 (「英語コミュニケーションⅠ」, 「英語コミュニケーションⅡ」, 「英語コミュニケーションⅢ」, 「論理・表現Ⅰ」, 「論理・表現Ⅱ」, 「論理・表現Ⅲ」) ・調査書等
	地理歴史 公民	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『公共、倫理』『公共、政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』 から1	
	数学	『数学Ⅰ』『数学Ⅰ、数学A』『数学Ⅱ、数学B、数学C』 から1	
	情報	『情報Ⅰ』	
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』 から1	
	外国語	『英語(リスニングを含む)』	
C日程	国語	『国語』	2教科 2科目 ・小論文 ・調査書等
	外国語	『英語(リスニングを含む)』	

注) 【A日程】

- ・「地理歴史、公民」「数学」「理科」「情報」について、複数の教科・科目を受験した場合は、「地理歴史、公民」「理科」の第1解答科目、「数学」における高得点科目及び「情報」のうち、高得点の1科目を合否判定に使用する。
- ・『地理総合／歴史総合／公共』は、3つの出題範囲から、2つを選択解答すること。
- ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、4つの出題範囲から、2つを選択解答すること。

【B日程】

- ・「地理歴史、公民」について、2科目受験した場合は第1解答科目を合否判定に使用する。
- ・「数学」「情報」について、複数の教科・科目を受験した場合は、「数学」における高得点科目及び「情報」のうち、高得点の1科目を合否判定に使用する。
- ・「理科」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用する。
- ・『地理総合／歴史総合／公共』は、3つの出題範囲から、2つを選択解答すること。
- ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、4つの出題範囲から、2つを選択解答すること。

(2) 国際経済学部 国際経済学科

日程	大学入学共通テスト利用教科・科目名		本学で実施する試験
	教科	科目名等	
A日程	国語	『国語』	・英語 (「英語コミュニケーションⅠ」, 「英語コミュニケーションⅡ」, 「英語コミュニケーションⅢ」, 「論理・表現Ⅰ」, 「論理・表現Ⅱ」, 「論理・表現Ⅲ」) ・小論文 } から1 ・数学 } (「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学A」, 「数学B(数 列)」, 「数学C(ベクトル)」) ・調査書等
	地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』 から1	
	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』 から1	
	情報	『情報Ⅰ』	
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 から1	
	外国語	『英語(リスニングを含む)』	
B日程	国語	『国語』	・英語 (「英語コミュニケーションⅠ」, 「英語コミュニケーションⅡ」, 「英語コミュニケーションⅢ」, 「論理・表現Ⅰ」, 「論理・表現Ⅱ」, 「論理・表現Ⅲ」) ・数学 (「数学Ⅰ」, 「数学Ⅱ」, 「数学A」, 「数学B(数 列)」, 「数学C(ベクトル)」) ・調査書等
	地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』『地理総合／歴史総合／公共』 から1	
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 から1	
	情報	『情報Ⅰ』	
	外国語	『英語(リスニングを含む)』	
C日程	数学	『数学Ⅰ, 数学A』『数学Ⅱ, 数学B, 数学C』 から1	・小論文 ・調査書等
	外国語	『英語(リスニングを含む)』	

注) 【A日程】

- ・「地理歴史、公民」「理科」「情報」について、複数の教科・科目を受験した場合は、「地理歴史、公民」「理科」の第1解答科目及び「情報」のうち、高得点の2科目を合否判定に使用する。
- ・「数学」について、2科目受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。
- ・『地理総合／歴史総合／公共』は、3つの出題範囲から、2つを選択解答すること。
- ・『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は、4つの出題範囲から、2つを選択解答すること。

【B日程】

- ・「国語」「地理歴史、公民」「数学」「情報」について、複数の教科・科目を受験した場合は、「地理歴史、公民」の第1解答科目、「数学」における高得点科目及び「国語」「情報」のうち、高得点の2科目を合否判定に使用する。
- ・『地理総合／歴史総合／公共』は、3つの出題範囲から、2つを選択解答すること。

【C日程】

- ・「数学」について、2科目受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。

※【A日程における「数学」「小論文」について】

- ・インターネット出願登録時に「数学」「小論文」のどちらかを選択してください。出願後の変更はできません。
- ・「数学」「小論文」に関しては、中央値補正法により得点調整を行います。

(3) 人間生活学部 子ども学科

日程	大学入学共通テスト利用教科・科目名			本学で実施する試験
	教科	科目名等		
A日程	国語	『国語』		5教科 5科目 面接 調査書等
	地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』から1		
	数学	『数学I』『数学I, 数学A』『数学II, 数学B, 数学C』から1		
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』から1		
	外国語	『英語(リスニングを含む)』		
B日程	国語	『国語』		3教科 3科目 小論文 面接 調査書等
	地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』から1		
	数学	『数学I』『数学I, 数学A』『数学II, 数学B, 数学C』から1		
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』から1		
	情報	『情報I』		
	外国語	『英語(リスニングを含む)』		
C日程	国語	『国語』		3教科 3科目 面接 調査書等
	地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』から1		
	数学	『数学I』『数学I, 数学A』『数学II, 数学B, 数学C』から1		
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』から1		
	情報	『情報I』		
	外国語	『英語(リスニングを含む)』		

注) 【A日程】

- ・「地理歴史、公民」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用する。
- ・「数学」について、2科目受験した場合は高得点の科目を合否判定に使用する。
- ・「理科」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用する。
- ・『地理総合/歴史総合/公共』は、3つの出題範囲から、2つを選択解答すること。
- ・『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から、2つを選択解答すること。

【B・C日程】

- ・「地理歴史、公民」「数学」「理科」「情報」について、複数の教科・科目を受験した場合は、「地理歴史、公民」「理科」の第1解答科目、「数学」における高得点科目及び「情報」のうち、高得点の1科目を合否判定に使用する。
- ・『地理総合/歴史総合/公共』は、3つの出題範囲から、2つを選択解答すること。
- ・『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から、2つを選択解答すること。

(4) 人間生活学部 健康栄養学科

日程	大学入学共通テスト利用教科・科目名		本学で実施する試験	
	教科	科目名等		
A日程	国語	『国語』	4教科 5科目	面接 調査書等
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』		
	理科	『化学』		
		『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『生物』から1		
外国語	『英語(リスニングを含む)』			
B日程	国語	『国語』	5教科 5科目	面接 調査書等
	地理歴史 公民	『地理総合, 地理探究』『歴史総合, 日本史探究』『歴史総合, 世界史探究』 『公共, 倫理』『公共, 政治・経済』『地理総合/歴史総合/公共』から1		
	情報	『情報Ⅰ』		
	数学	『数学Ⅰ, 数学A』		
	理科	『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『化学』『生物』から1		
外国語	『英語(リスニングを含む)』			
C日程	理科	『化学』	2教科 3科目	面接 調査書等
		『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』 『物理』『生物』から1		
	外国語	『英語(リスニングを含む)』		

注) 【A日程】

- ・『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から、2つを選択解答すること。

【B日程】

- ・「地理歴史、公民」「情報」について、複数の教科・科目を受験した場合は、「地理歴史、公民」の第1解答科目及び「情報」のうち、高得点の1科目を合否判定に使用する。
- ・「理科」について、2科目受験した場合は、第1解答科目を合否判定に使用する。
- ・『地理総合/歴史総合/公共』は、3つの出題範囲から、2つを選択解答すること。
- ・『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から、2つを選択解答すること。

【C日程】

- ・『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』は、4つの出題範囲から、2つを選択解答すること。

4 大学入学共通テスト及び教科・科目に係る個別テスト、小論文、面接の配点

(1) 国際地域学部 国際地域学科

(単位：点)

試験種別 教科等 日程	大学入学共通テスト						本学で実施する試験				調査書等	合計
	英語	国語	数学	情報	地歴 公民	理科	英語	数学	小論文	面接		
A日程	100	100	100※				200	—	—	—	25	525
B日程	200	100	100※※		100	100	200	—	—	—	40	840
C日程	200	100	—	—	—	—	—	—	100	—	20	420

※数学・情報・地歴公民・理科から1科目を選択 ※※数学・情報から1科目を選択

(2) 国際経済学部 国際経済学科

(単位：点)

試験種別 教科等 日程	大学入学共通テスト						本学で実施する試験				調査書等	合計
	英語	国語	数学	情報	地歴 公民	理科	英語	数学	小論文	面接		
A日程	100	100	100	100※			100	100※※		—	50	650
B日程	100	200※※※				—	200	100	—	—	50	650
C日程	150	—	150	—	—	—	—	—	50	—	50	400

※情報・地歴公民・理科から2教科2科目を選択 ※※数学・小論文から1科目を選択

※※※国語・数学・情報・地歴公民から2教科2科目を選択

(3) 人間生活学部 子ども学科

(単位：点)

試験種別 教科等 日程	大学入学共通テスト						本学で実施する試験				調査書等	合計
	英語	国語	数学	情報	地歴 公民	理科	英語	数学	小論文	面接		
A日程	150	200	50	—	50	50	—	—	—	200	*	700
B日程	100	100	100※				—	—	200	200	*	700
C日程	200	200	100※				—	—	—	200	*	700

※数学・情報・地歴公民・理科から1科目を選択 *調査書は面接と組み合わせて総合的に判断する。

(4) 人間生活学部 健康栄養学科

(単位：点)

試験種別 教科等 日程	大学入学共通テスト						本学で実施する試験				調査書等	合計
	英語	国語	数学	情報	地歴 公民	理科	英語	数学	小論文	面接		
A日程	100	100	100	—	—	100	—	—	—	200	*	600
B日程	100	100	100	50※		50	—	—	—	200	*	600
C日程	200	—	—	—	—	200	—	—	—	200	*	600

※情報・地歴公民から1科目を選択 *調査書は面接と組み合わせて総合的に判断する。

注) 【全試験区分共通】

- ・大学入学共通テスト「国語」の配点は「200点満点」ですが、上記の表で「国語」の配点が「100」となっている区分の日程については、「200点満点」を「100点満点」に圧縮して換算します。
- ・大学入学共通テスト「英語」の配点は「200点満点」ですが、上記の表で「英語」の配点が「100」又は「150」となっている区分の日程については、「200点満点」を「100点満点」又は「150点満点」に圧縮して換算します。

- ・大学入学共通テスト「英語」におけるリーディングとリスニングの配点比率について、大学入学共通テストの「英語」の「リーディング」（100 点満点）及び「リスニング」（100 点満点）の配点比率は、3：1（150 点：50 点）とします。
- ・大学入学共通テスト「数学」の配点は「100 点満点」ですが、上記の表で「数学」の配点が「50」又は「150」となっている区分の日程については、「100 点満点」を「50 点満点」に圧縮、又は「150 点満点」に伸長して換算します。
- ・大学入学共通テスト「情報」「地理歴史、公民」「理科」の配点は「100 点満点」ですが、上記の表で「情報」「地理歴史、公民」「理科」の配点が「50」となっている区分の日程については、「100 点満点」を「50 点満点」に圧縮して換算します。

5 教科・科目に係る個別テスト、小論文、面接の日時及び試験場

(1) 国際地域学部 国際地域学科

日程	期日	時間	教科等	試験場
A 日程	令和 9 年 2 月 7 日(日)	10:00～11:30	英 語	【新潟会場】 ホテルイタリア軒 【東京会場】 日本教育会館（東京都千代田区）
B 日程	令和 9 年 2 月 20 日(土)	10:00～11:30	英 語	【新潟会場】 ホテルイタリア軒 【東京会場】 日本教育会館（東京都千代田区）
C 日程	令和 9 年 3 月 15 日(月)	10:00～11:30	小論文	新潟県立大学

注) ・ A 日程及び B 日程は、新潟会場及び東京会場で実施します。

- ・ 出願状況により、試験場が変更となる場合があります。試験場の詳細については、学生募集要項等で発表します。

(2) 国際経済学部 国際経済学科

日程	期日	時間	教科等	試験場
A 日程	令和 9 年 2 月 7 日(日)	10:00～11:30	英 語	【新潟会場】 新潟県立大学 【東京会場】 日本教育会館（東京都千代田区）
		13:00～14:00	数 学 小論文 } から 1	
B 日程	令和 9 年 2 月 20 日(土)	10:00～11:30	英 語	【新潟会場】 新潟県立大学 【東京会場】 日本教育会館（東京都千代田区）
		13:00～14:00	数 学	
C 日程	令和 9 年 3 月 15 日(月)	10:00～11:00	小論文	新潟県立大学

注) ・ A 日程及び B 日程は、新潟会場及び東京会場で実施します。

- ・ 出願状況により、試験場が変更となる場合があります。試験場の詳細については、学生募集要項等で発表します。

(3) 人間生活学部 子ども学科

日程	期日	時間	教科等	試験場
A日程	令和9年 2月7日(日)	10:00～	面接	新潟県立大学
B日程	令和9年 2月20日(土)	10:00～11:00	小論文	新潟県立大学
		12:00～	面接	
C日程	令和9年 3月15日(月)	10:00～	面接	新潟県立大学

注) ・出願状況により、試験場が変更となる場合があります。試験場の詳細については、学生募集要項等で発表します。

(4) 人間生活学部 健康栄養学科

日程	期日	時間	教科等	試験場
A日程	令和9年 2月7日(日)	10:00～	面接	新潟県立大学
B日程	令和9年 2月20日(土)	10:00～	面接	【新潟会場】 新潟県立大学 【東京会場】 日本教育会館(東京都千代田区)
C日程	令和9年 3月15日(月)	10:00～	面接	新潟県立大学

注) ・B日程は、新潟会場及び東京会場で実施します。

・出願状況により、試験場が変更となる場合があります。試験場の詳細については、学生募集要項等で発表します。

V 総合型選抜

実施学部・学科名	国際経済学部 国際経済学科
募集人員	若干名
出願資格	次のいずれかに該当する者 (1) 日本国内の高等学校又は中等教育学校を令和 8 年度中に卒業した者又は卒業見込みの者 (2) 日本国内における通常の課程による 12 年の学校教育を令和 8 年度中に修了した者又は修了見込みの者 入学を期待する人材 (1) 国際経済及び地域経済に関心を有し、専門的能力を高めることに意欲を有する者 (2) 経済を読み解くための情報データに関心を有し、その分析能力を高めることに意欲を有する者 (3) 国際経済や地域経済に関して学んだ知識や指向を活かして社会や地域に貢献する意欲を有する者
出願要件	次のいずれにも該当する者 (1) 国際経済学部での勉学を強く希望し入学を志す者 (2) 高等学校在学期間に相当する期間において、高度な資格や技能を有し、評価を得ている者で、かつこれを証明する資料を提出できるもの (3) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者 なお、高度な資格・技能に関しては、以下のような資格・技能試験・コンテスト等を想定しています。 (高度な資格・技能の例示) ○英語検定試験で CEFR (ヨーロッパ共通参照枠) の B2 (英検準 1 級程度) 以上を取得している者 ○実用数学技能検定準 1 級以上の者 ○データサイエンティスト検定リテラシーレベル以上 ○データサイエンス数学ストラテジスト中級以上 ○統計検定 2 級以上 ○日商プログラミング検定 STANDARD 以上 ○日商簿記検定試験 1 級合格もしくは 1 級 4 科目の合計点が 50 点以上の者、又は全国経理教育協会主催簿記能力検定上級に合格している者 ○各種ビジネスプランコンテスト入賞者等
選抜方法	出願書類等(調査書、評価書、志望理由書、各種の高度な資格・技能試験・コンテスト結果の証明書又は表彰状のコピー等)の内容を精査し 1 次選考(書類選考)を行い、1 次選考合格者に対して面接による 2 次選考を行って選抜を行います。なお、出願書類等は 2 次選考の面接の資料としても利用します。
出願期間	令和 8 年 9 月 28 日 (月) ~ 10 月 2 日 (金) 17:00
1 次選考(書類選考)結果発表	令和 8 年 10 月 23 日 (金)
2 次選考試験期日	令和 8 年 11 月 21 日 (土) 面接: 9:30~
試験場	新潟県立大学
合格発表	令和 8 年 12 月 3 日 (木)

VI 学校推薦型選抜

実施学部 学科名	国際地域学部	国際経済学部	人間生活学部	
	国際地域学科	国際経済学科	子ども学科	健康栄養学科
募集人員	40人	25人	15人	10人
出願資格	次のいずれかに該当する者 (1) 日本国内の高等学校又は中等教育学校を令和8年度中に卒業した者又は卒業見込みの者 (2) 日本国内における通常の課程による12年の学校教育を令和8年度中に修了した者又は修了見込みの者 (3) 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和8年度中に修了した者又は修了見込みの者			
推薦要件	次のいずれにも該当する者 (1) 人物・学力ともに優秀であり、志望する学部・学科に関する学習・研究意欲が高い者で、所属学校長が責任を持って推薦できるもの (2) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者			
	(3) 学習成績 の状況	英語 4.0 以上	英語もしくは数学の学習成績の状況が4.0以上 ただし、数学の学習成績の状況については、「数学Ⅰ」「数学A」「数学Ⅱ」「数学B」の4科目を修得していること (※上記に指定する科目と同様の内容を、他の名称の科目で履修している場合は、その旨の学校長名の証明を調査書に添付すること)	全体 3.8 以上
選抜方法	<国際地域学科> 小論文、面接及び調査書等の内容を総合的に用いて評価します。	<国際経済学科> 小論文、面接及び出願書類等(調査書・推薦書・志望理由書)の内容により評価します。	<子ども学科> 小論文、面接及び出願書類等(調査書・志望理由書等)の内容により評価します。 <健康栄養学科> 化学、面接及び出願書類等(調査書・志望理由書等)の内容により評価します。 化学の出題範囲は以下のとおり。 1) 化学基礎全般 2) 化学: 文部科学省の高等学校学習指導要領に示された内容のうち、「(1)物質の状態と平衡、(2)物質の変化と平衡」から出題。	
出願期間	令和8年11月2日(月)～11月6日(金) 17:00			

試験期日	令和8年11月21日(土)			
	(国際地域学科) ・小論文: 9:30~11:00 ・面接: 12:00~	(国際経済学科) ・小論文: 9:30~10:30 ・面接: 11:30~	(子ども学科) ・小論文: 9:30~11:00 ・面接: 12:00~	(健康栄養学科) ・化学: 9:30~10:30 ・面接: 11:30~
試験場	新潟県立大学			
合格発表	令和8年12月3日(木)			

注)・人間生活学部健康栄養学科の面接は、集団討論と個人面接を行います。

・募集人員のうち概ね3分の2は、新潟県内の高等学校等(※)からの受験者から選抜し、残りの募集人員については、新潟県内外の高等学校等からの受験者から選抜します。

※「新潟県内の高等学校等からの受験者」とは、本人が令和8年(2026年)1月1日以降引き続き新潟県内に居住している者で、新潟県内の高等学校等を令和8年度(2026年度)中に卒業(修了)又は卒業(修了)見込みのものをいいます。

教科・科目に係る個別テスト、小論文、面接の配点

(1) 国際地域学部 国際地域学科 (単位:点)

本学で実施する試験		調査書等	合計
小論文	面接		
250	150	*	400

(2) 国際経済学部 国際経済学科 (単位:点)

本学で実施する試験		調査書等	合計
小論文	面接		
100	100	*	200

(3) 人間生活学部 子ども学科 (単位:点)

本学で実施する試験		調査書等	合計
小論文	面接		
100	100	*	200

(4) 人間生活学部 健康栄養学科 (単位:点)

本学で実施する試験		調査書等	合計
化学	面接		
200	300	*	500

*調査書等は、面接の資料として総合的に評価します。

VII 特別選抜（海外帰国生特別選抜）

実施学部・学科名	国際地域学部	国際経済学部	人間生活学部	
	国際地域学科	国際経済学科	子ども学科	健康栄養学科
募集人員	若干名	若干名	若干名	若干名
出願資格	<p>日本国籍を有する者又は日本国の永住許可を得ている者で、外国の学校教育を受け、次の(1)(2)のいずれかに該当するもの。国際経済学部はさらに(3)も満たす者。</p> <p>(1) 外国において、最終学年を含め2学年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受け、学校教育における12年の課程（日本における通常の課程による学校教育期間を含む。）を令和7年4月1日から令和9年3月31日までに修了又は修了見込みの者</p> <p>ただし、外国に設置されたものであっても、日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校に在学した者については、その期間は、外国において学校教育を受けたとはみなさない。</p> <p>(2) 次のいずれか1つ以上を令和7年(2025年)から令和8年(2026年)に外国において授与された者</p> <p>(ア) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局からの国際バカロレア資格</p> <p>(イ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(ウ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(エ) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際Aレベル資格）</p> <p>(オ) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められるヨーロッパン・バカロレア資格（欧州バカロレア資格）</p> <p>注）高等学校卒業までに少なくとも12年の教育課程を基本とする国で、成績優秀者が「飛び級」や「繰り上げ卒業」により通算教育年数が12年に満たずに卒業した場合についても出願資格があると認めます。国によっては高等学校卒業時までに12年の教育課程を必要としない場合など、出願資格に疑問がある場合は、入試課まで問い合わせてください。</p> <p>(3) 国際経済学部は、TOEFL iBTまたはTOEIC L&Rを出願開始日前2年以内に受験しており、出願時にその成績を証明できる者</p>			
選抜方法	<p><国際地域学科> 書類審査、面接及び筆記試験の内容を総合的に判定して選抜します。なお、筆記試験は、日本語と英語の要約力をみる問題と、日本語と英語のうち得意な言語で行う作文で構成されます。筆記試験は辞書（冊子体に限る。）の持ち込みを可とします。</p>	<p><国際経済学科> 書類審査、面接及び筆記試験（いずれも日本語）の内容を総合的に判定して選抜します。筆記試験は小論文を課します。</p>	<p><子ども学科> 書類審査、面接及び筆記試験（いずれも日本語）の内容を総合的に判定して選抜します。筆記試験は小論文を課します。筆記試験は辞書（冊子体に限る。）の持ち込みを可とします。</p> <p><健康栄養学科> 書類審査、面接及び筆記試験（いずれも日本語）の内容を総合的に判定して選抜します。筆記試験は化学を課します。化学の出題範囲は以下のとおり。</p> <p>1) 化学基礎全般 2) 化学: 文部科学省の高等学校学習指導要領に示された内容のうち、「(1)物質の状態と平衡、(2)物質の変化と平衡」から出題。</p>	
出願期間	令和8年11月2日（月）～11月6日（金）17:00			
試験期日	令和8年11月21日（土）9:30～			
試験場	新潟県立大学			
合格発表	令和8年12月3日（木）			

VIII 特別選抜（外国人留学生特別選抜）

実施学部・学科名	国際地域学部	国際経済学部	人間生活学部	
	国際地域学科	国際経済学科	子ども学科	健康栄養学科
募集人員	若干名	若干名	2人	若干名
出願資格	<p>次の(1)から(2)の資格・要件をすべて満たしている者。国際経済学部はさらに(3)も満たす者。</p> <p>(1) 日本の国籍を有しない者で、次のいずれかに該当するもの</p> <p>ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了（卒業）した者又は令和9年3月31日までに修了（卒業）見込みの者（12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程または研修施設の課程等を修了した者および令和9年3月31日までに修了見込みの者）</p> <p>イ 上記アに準ずる者で、文部科学大臣の指定した次のいずれかのもの</p> <p>(ア) 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む。）に合格した者で、令和9年（2027年）3月31日までに18歳に達するもの</p> <p>(イ) 外国において、高等学校に対応する学校の課程を修了した者（これと同等以上の学力があるかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定、又はこれに準ずるものに合格した者を含む。）で、文部科学大臣が指定した教育施設等において所定の課程を修了したもの（令和9年3月31日までに修了見込みの者を含む。）</p> <p>ウ 次のいずれか1つ以上を令和7年（2025年）から令和8年（2026年）に外国において授与された者</p> <p>(ア) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局からの国際バカロレア資格</p> <p>(イ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格</p> <p>(ウ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格</p> <p>(エ) グレート・ブリテン及び北部アイルランド連合王国において大学入学資格として認められるジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（GCEA 資格）又はインターナショナル・ジェネラル・サーティフィケート・オブ・エデュケーション・アドバンスト・レベル資格（国際 A レベル資格）</p> <p>(オ) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められるヨーロッパ・バカロレア資格（欧州バカロレア資格）</p> <p>エ 外国において、文部科学大臣が指定する国際的な評価団体（WASC, ACSI, CIS, NEASC, Cognia, COBIS）から教育活動等に係る認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了した者又は2027年3月31日までに修了見込みの者</p> <p>注）高等学校卒業までに少なくとも12年の教育課程を基本とする国で、成績優秀者が「飛び級」や「繰り上げ卒業」により通算教育年数が12年に満たずに卒業した場合についても出願資格があると認めます。その他、出願資格に疑問がある場合は、入試課まで問い合わせてください。</p> <p>(2) 令和8年度（2026年度）第1回又は令和7年度（2025年度）第1回もしくは令和7年度（2025年度）第2回日本留学試験を受験した者（詳細は次ページ別表のとおり。）</p> <p>(3) 国際経済学部は、TOEFL iBT または TOEIC L&R を出願開始日前2年以内に受験しており、出願時にその成績を証明できる者</p>			

選抜方法	<p><国際地域学科> 書類審査、面接及び筆記試験の内容を総合的に判定して選抜します。なお、筆記試験は、日本語と英語の要約力をみる問題と、日本語と英語のうち得意な言語で行う作文で構成されます。筆記試験は辞書(冊子体に限る。)の持ち込みを可とします。</p>	<p><国際経済学科> 書類審査、面接及び筆記試験(いずれも日本語)の内容を総合的に判定して選抜します。なお、筆記試験は、小論文を課します。</p>	<p><子ども学科> 書類審査、面接及び筆記試験(いずれも日本語)の内容を総合的に判定して選抜します。筆記試験は小論文を課します。筆記試験は辞書(冊子体に限る。)の持ち込みを可とします。</p> <p><健康栄養学科> 書類審査、面接及び筆記試験(いずれも日本語)の内容を総合的に判定して選抜します。筆記試験は化学を課します。</p> <p>化学の出題範囲は以下のとおり。 1) 化学基礎全般 2) 化学:文部科学省の高等学校学習指導要領に示された内容のうち、「(1)物質の状態と平衡、(2)物質の変化と平衡」から出題。</p>
出願期間	令和8年11月2日(月)～11月6日(金) 17:00		
試験期日	令和8年11月21日(土) 9:30～		
試験場	新潟県立大学		
合格発表	令和8年12月3日(木)		

別表 日本留学試験の出題言語、受験科目

学部名	学科名	出題言語	受験科目
国際地域学部	国際地域学科	日本語・英語	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語(450点) ・総合科目(200点)
国際経済学部	国際経済学科	日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語(450点) ・数学(コース1又はコース2:200点) ・総合科目(200点)
人間生活学部	子ども学科	日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語(450点) ・数学(コース1又はコース2:200点)又は総合科目(200点) ※両方受験の場合は得点の高い方を採用
	健康栄養学科	日本語	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語(450点) ・数学(コース1又はコース2:200点) ・理科(化学、生物:各100点)


IX 各種資料の請求方法

1 出願資料の種類・発送予定


出願資料の種類	発送予定
総合型・学校推薦型・特別選抜インターネット出願資料	令和8年8月中旬予定
一般選抜インターネット出願資料	令和8年11月下旬予定


※インターネット出願のため、紙媒体での学生募集要項は配布しません。学生募集要項は本学ウェブサイトに掲載予定です。

2 各種資料の請求方法

本学ウェブサイトから、「テレメール」または「モバっちょ」を利用して各種資料が請求できます。詳しくは、本学ウェブサイト (<https://www.unii.ac.jp/>) をご覧ください。なお、申込方法により必要な料金・発送方法が異なりますので、詳しくは各取扱い業者のウェブサイトを確認してください。

(1) 「テレメール」で請求する方法

- ① 「テレメール」のサイトにアクセスしてください。

https://telemail.jp	資料請求はこちら ▶ (資料請求番号の入力不要)	
---	-----------------------------	---

- ② 請求を希望する資料請求番号（6桁）を入力してください。

資料名	資料請求番号	発送予定日	料金(予定)
大学案内	563632	随時発送中	250円
入学者選抜要項	583622	随時発送中	180円
入学者選抜要項+大学案内	543622	随時発送中	250円
総合型・学校推薦型・特別選抜インターネット出願資料	760062	8月中旬頃	180円
総合型・学校推薦型・特別選抜インターネット出願資料+大学案内	760072	8月中旬頃	250円
一般選抜インターネット出願資料	583632	11月下旬頃	180円
一般選抜インターネット出願資料+大学案内	543632	11月下旬頃	250円
令和6～令和8年度入試過去問題集(学校推薦型選抜・特別選抜)	594822	8月上旬頃	180円

※発送予定日及び料金は、変更になる場合があります。

※学生募集要項は本学ウェブサイトに掲載予定です。

- ③ ガイダンスに従ってお届け先等を登録してください。
④ 通常は、発送日のおおむね3～5日後に資料が届きます。

「テレメール」で資料請求する場合の注意事項

※発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日に一斉に発送します。

※資料は通常、発送日からおおむね3～5日後でお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります。なお、16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。

※随時発送の資料が1週間以上（予約受付の資料は発送開始日から1週間以上）経っても届かない場合は、テレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。


※料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の支払い方法をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、手数料が別途必要です。

< 「テレメール」による請求方法についてのお問い合わせ先 >

テレメールカスタマーセンター TEL : 050-8601-0102 (受付時間 9:30～18:00)

(2) 大学情報センターの「モバっちょ」で請求する方法

携帯電話、スマートフォン、パソコンから請求できます。携帯払い、スマホ払い、クレジットカード払い、コンビニ後払いができます。

インターネット (パソコン・携帯電話・ スマートフォン)	https://djc-mb.jp/uni i3/	
------------------------------------	---	---

※携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払いできない場合がございます。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

< 「モバっちょ」による請求方法についてのお問い合わせ先 >

モバっちょカスタマーセンター TEL : 050-3540-5005 (受付時間/平日 10:00～18:00)

<入学試験に関するお問い合わせ先>

〒950-8680 新潟市東区海老ヶ瀬 471 番地
新潟県立大学 入試課

TEL 025-270-1311 FAX 025-270-5173

E-mail nyushi@unii.ac.jp

URL <https://www.unii.ac.jp/>

mobile <https://daigakujc.jp/unii/>

モバイルサイト
二次元コード

